

重 要

医学部保健医療学科看護学専攻新入生の皆さんへ

医学部保健医療学科看護学専攻

感染症抗体検査・ワクチン接種について

名古屋市立大学医学部保健医療学科看護学専攻へのご入学おめでとうございます。

看護学専攻では、1年生から教養教育の地域参加型学習や専門教育において、病院等の医療機関の見学や医療に関する実習が行われます。これらの教育時における感染防止をはかるため、以下の項目についてご確認とご対応をお願いいたします。

ご入学の準備でお忙しい中、誠に恐縮ですが、ご対応のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

重要なお確認

下記の疾患〔麻疹（はしか）、風疹、流行性耳下腺炎（ムンプス、おたふくかぜ）、水痘（水ぼうそう）〕の罹患歴・予防接種（接種日・予約状況）について、以下の表を埋められるように2026年4月17日（金）の**名市大多職種連携教育：基礎Ⅰ**の初回講義までに準備してください。

項目	検査方法	抗体価	罹患歴	過去の接種歴及び接種予定日	
				1回目	2回目
例：麻疹（はしか）	①IgG EIA 法 ②PA 法	〇〇	有・無	2007年5月12日	2010年3月29日
麻疹（はしか） *①または②の検査方法	①IgG EIA 法 ②PA 法		有・無		
風疹 *①または②の検査方法	①HI 法 ②IgG EIA 法		有・無		
流行性耳下腺炎 （ムンプス、おたふくかぜ）	IgG EIA 法		有・無		
水痘（水ぼうそう）	IgG EIA 法		有・無		
伝染性紅斑	不要		有・無		

手順

- 母子手帳等にてそれぞれの罹患歴および過去のワクチン接種歴を確認してください。多くの場合、風疹・麻疹についてはMRワクチンを2回接種済みであることが多いです。
- 抗体価検査（検査項目：麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘）を受けてください。
- 上記4項目につきましては、原則として2回のワクチン接種が必要です。ただし、罹患歴やワクチン接種歴によって、あらたにワクチンを接種いただく回数異なります。ワクチン接種歴が2回に達していない場合、下表をご確認の上、適切にご対応をお願いします。
- 抗体検査後から入学前までにワクチン接種した場合は、母子手帳にLot番号のシールを貼付してください。

各項目のワクチン接種歴	各項目の罹患歴	各項目における対応
すでに2回接種済	あり、なしに関わらず	あらたなワクチン接種必要なし。
すでに1回接種済	あり、なしに関わらず	抗体価の値にかかわらず、あらたに2回目のワクチン接種を、6月の病院実習開始までに完了していただきます。入学前に接種済の状況でもよいです。
接種なし	なし	抗体価の値にかかわらず、2回のワクチン接種を、6月の病院実習開始までに完了していただきます。なお、接種スケジュール上、入学前に1回目は接種済の状況が望ましいです。
	あり	抗体価の値に基づき、追加接種が必要か判断します。入学後の名市大多職種連携教育：基礎Ⅰの初回講義で説明いたします。

ご準備いただく書類

- 1) 抗体価検査の結果のコピー
- 2) ワクチン接種歴、罹患歴が分かるもののコピー（例：母子健康手帳における接種歴・罹患歴の記載ページのコピー）。

※上記1)と2)を入学後の名市大多職種連携教育：基礎Ⅰの初回講義〔2026年4月17日（金曜）〕にご持参ください。各コピーには、学籍番号と氏名をご記入ください。

※初回講義〔2026年4月17日（金曜）〕以降に接種を受けた場合は、その証明書類のコピー（例：接種したロット番号のシールを貼付した領収書あるいは、接種日と接種したロット番号の記載書類と接種した医療機関名が明示された書類）を提出していただく予定です。提出方法については、上記の講義内でご連絡します。

1. 書類の保管方法

・提出していただいたワクチン接種歴または罹患歴が分かるものは、入学後に配布される「**感染症等の抗体検査結果と予防接種の覚え書き**」にも貼付し、卒業まで保管していただく予定です。

2. ワクチン接種に関するご注意

・ワクチン接種は個人で手配してください。年度により医療機関でのワクチン入荷が困難となる場合があります。
・複数回のワクチン接種が必要な場合、接種間隔に一定期間を要する場合がありますので、受診機関の医師に相談し、計画的に対応をお願いします。

3. ご提出いただいた書類の取り扱い

・検査結果および接種記録は、個人情報として保健医療学科事務室で厳重に管理し、その利用は学生教育上の場合に限定いたします。

問い合わせ先

名古屋市立大学医学部保健医療学科看護学専攻事務室
(桜山キャンパス内) 電話 052-853-8038

【よくある質問】

Q1：抗体検査やワクチン接種はどこで受ければよいですか？

A：お住まいの地域の医院、クリニックなどで抗体検査・ワクチン接種が可能です。「麻疹・風疹・ムンプス・水痘の抗体検査/予防接種希望」とお伝えの上、ご予約ください。なお、名古屋市立大学医学部附属病院では、検査を受けることはできません。

Q2：罹患歴をどのように証明するのですか？

A：母子手帳に記載がある場合は該当ページのコピーをご提出ください。

Q3：ワクチン接種歴1回で、罹患歴がある場合は、2回目接種が必要ですか？

A：医療関係者のためのワクチンガイドライン第4版に基づいて、抗体価の値に関わらず、追加のワクチン接種となります。

Q4-1：ワクチン接種歴なしで、罹患歴がある場合は、どうしたらいいですか？

Q4-2：抗体価検査は受けたが、どのワクチンを接種したらよいかわからない。

A：抗体価の値で、接種回数を判断します。この判断は、入学後の名市大多職種連携教育：基礎Ⅰの初回講義で説明いたします。

Q5：ワクチン接種歴なしで、罹患歴がない or 不明の場合はどうしたらいいですか？

A：抗体価の値に関わらず、2回のワクチン接種となります。

Q6：複数の疾患で異なる対応が必要な場合はどうしたらよいですか？

A：疾患ごとに手順の表に従い、それぞれ対応してください。入学後の名市大多職種連携教育：基礎Ⅰの初回講義でも説明いたします。

Q7：MRやMMRワクチンとは、何を意味しますか？

A：MRは2種（麻疹・風疹）の混合ワクチンで、MMRは3種（麻疹・風疹・ムンプス）の混合ワクチンとされています。

Q8：6月の病院実習開始までに間に合わない場合は、どうしたらいいですか？

A：計画的にワクチン接種を進めて下さい。間に合わない場合については、入学後の名市大多職種連携教育：基礎Ⅰの初回講義で説明いたします。

Q9：抗体価検査とワクチン接種のどちらを先に入学前に行うのですか。

A：どちらが先でも構いません。ただし、入学前の抗体価検査が最低限必要となります。